

発行元 連合福岡・福岡地域協議会 事務局 〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル1F
TEL 092-283-5280 FAX 092-283-5251 e-mail : fukuoka-chiky@fukuoka.jtuc-rengo.jp

働く者の力を集め、地域に顔が見える運動を実践しよう！

連合福岡地協・福岡地域労福協「2019年新年交歓会」を開催

- 日 時 2019年1月15日（火）18:30～20:00
- 場 所 アークホテルロイヤル福岡天神 2F「羽衣の間」
- 参 加 169名（各労働団体、労働福祉事業団体、福岡県、経営者協会、福岡市、各政党・議員）

連合福岡地協・福岡地域労働者福祉推進協議会の共催で、「2019年新年交歓会」を開催しました。

開会にあたり、連合福岡地協を代表し石堂高大議長より、「新年おめでとうございます。昨年はみなさまのご理解、ご協力により福岡地協、地域労福協とともに、様々な活動が展開できましたことに感謝申し上げます。さて、2019年は大きな3つの闘いが控えています。まずは春闘が始まります。そして4月の統一地方選挙、7月の参議院選挙と続きます。全ては各構成組織の取り組みに寄るところが大きいところですが、福岡地協としての役割をしっかりと果たして行くこととします。今年1年も、一人でも多くのおみなさんの参加をいただき、喜んでいただける活動・事業を展開していきますので、よろしくお願い致します。」と年頭の挨拶を行いました。

続いて、多くの来賓を代表し、連合福岡・西村芳樹会長、福岡県労働者福祉協議会・藤吉眞二専務理事、福岡市経済観光文化局中小企業振興部・今村寛部長、福岡県経営者協会・有馬紀頭専務理事より、ご挨拶をいただきました。

その後、福岡地協労福協・神尾浩二副会長の乾杯で交歓会が始まり、懇親を深め合う中、地協議員懇談会会員・特別会員等より、挨拶をいただきました。後半は参加者による労福協・福祉募金事業として、「チャリティ抽選会」を開催し、当選者より多くの募金を集約することができました。2018年度福祉募金と合わせて、福祉事業所・団体等への物品寄贈に役立てます。

年始の多忙な時期のイベントとなりましたが、参加する各団体の皆様のご協力により大変有意義な交歓会となりました。本年も宜しくお願い致します。



福岡地協 石堂高大議長



連合福岡 西村芳樹会長



福岡県労福協 藤吉眞二専務理事



福岡地協・労福協役員一同 本年も宜しくお願い致します。

働く者の安心社会をつくろう！「第19回統一地方選勝利！福岡地協決起集会」

福岡地協・労福協「2019年新春セミナー」

- 日時 2019年1月15日(火) 16:30～18:10
- 場所 アークホテルロイヤル福岡天神 3F「孔雀の間」
- 参加 144名（構成組織、関係団体、福岡地協議員懇談会等）

福岡地協は、各市町村への政策・制度要求を通じて、地域における「働く者」「生活者」に資する政策・制度の実現を図ってます。今後さらに進めて行くには各地方議会における政治基盤の確立が求められています。

1月15日、地協構成組織や各団体、また議員懇の市議・県議の皆さんに参加いただき、「2019年新春セミナー」を開催しました。第1部では、福岡市政部会が進める「2019～2020年度・福岡市政に対する要求書」（案）について、各部会より趣旨説明が行われ、第2部では、今期をもって勇退される、福岡市議の栃木義博氏より「5期20年の議員活動を振り返り 次代に託す運動」と題して、講演をいただきました。

栃木氏は、当時の民主市民クラブを3人で結成し、始めた議会活動を振り返られ、取り組んだ政策とともに、労働組合と議員との連携の重要性について、以下のように語られました。

3期目の仕事として中心的に取り組んだ福岡市生活交通条例は、画期的な条例となったが、当時の民主党、社民党が議論していた交通権の保障がベースになっていた。

地域の高齢化対策は、私企業だけで地域の基盤を支えることが限界に達している中で、「公」が表に出ないといけないという信念で条例化を進めた。こうした取り組みは決して議員が出身の組合と会社等にとっての利益が一致しない場合も多いと思われるが、今後も「市民全体の利益」という視点で取り組みを進めていくことが重要だと述べられ、2005年のごみ処理有料化や2017年の空港運営権を巡る、執行部側（市側）と市民を代表する議員との印象深い話もしていただきました。

そして、議員活動を長年続けていくためには、「地域に根をはること」が重要だと実感した20年だったが、改めて労働組合と議員に求められるのは、「労組の利益を市民の利益に繋げる」ことを自信と確信をもってしっかり政策作りに取り組むことだ。本気で市民の利益に繋げるためには、労組の役員と議員がお互いの立場を超えて、膝詰めの熟議を行うことが重要だ。人口減少時代を迎え、今後日本全体で社会資本費が重くのしかかることは、多数の識者が指摘している。このことを背景に可決された水道法改正による水道経営権の民間売却（コンセッション方式）は、市民の財産である水道が今まで通りに「安全安心」なサービスとして安定供給が続けられるのか、諸外国の事例を見れば懸念がある。ぜひ、議員と労働組合が連携し、歯止めの役割を果たしていただきたいと語られました。

5期20年を振り返る講演としては、約40分という短い講演でしたが、改めて労働組合と議員が本気で連携し、市民の利益向上に務めることの重要性を認識させていただく貴重な講演会となりました。

福岡市政部会 各代表者説明



第1部会 平田部会長



第2部会 岡崎事務局長



第3部会 山本部会長



第4部会 石橋部会長



講師：栃木義博 氏



福岡市議選予定候補者紹介



新春セミナーに参加された皆さん